

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	107 -	事業名	公園西駅周辺・区画整理整備事業（区画整理事業）	担当部課	建設部区画整理課
------	-------	-----	-------------------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	10	公園西駅周辺土地区画整理事業特別会計
		分野別項目	1	魅力ある市街地を創り出す	款	2	事業費
		施策の進め方	2	リニモを生かした新しい地域整備	項	1	土地区画整理事業費
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと（生命ある空間）の風景を子どもたちに～	目	1	土地区画整理事業費
		政策分類	8	地球にやさしい低炭素社会をつくる	大事業	2	区画整理事業
	その他（関係法令、要綱等）		土地区画整理法、都市計画法、その他公物管理（道路法、都市公園緑地法）				
事業開始の背景、経緯等		地域住民の利便性向上に加え、良好な市街地の誘導を図るため、リニモ公園西駅周辺という立地条件を活かし、平成25年7月から土地区画整理事業を実施している。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) リニモ公園西駅周辺地区において、駅前広場を整備し、リニモ及びN-バスとの交通結節点機能の充実を図りつつ、都市機能の充実と魅力ある拠点形成を図るため、市施行による土地区画整理事業により、公共施設整備と宅地整備を実施する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) リニモ公園西駅周辺の20.6haを対象としている。土地205筆、地権者118人。					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 土地区画整理事業による基盤整備を行うことによって、都市機能の充実と魅力ある拠点形成を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 公園西駅周辺・区画整理整備事業	拡充	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		1,377,510	1,073,153	381,489
決算					952,735	1,477,349	731,658	
人件費(B)	千円	決算		-	20,241	20,942		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		-	1,497,590	752,600		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 使用収益開始率	%	目標	-	-	-	-	80
			実績		2	61	66	
	B 事業費進捗率	%	目標	-	-	-	-	90
実績			17	37	59	78		
C			目標					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 公園西駅周辺土地区画整理事業の換地について、その使用が可能となった換地の比率(使用収益開始率)を成果指標とする。								
B 公園西駅周辺土地区画整理事業の事業計画の事業費に対する執行率(事業費進捗率)を成果指標とする。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 長久手市と同様に名古屋市、豊田市の近郊都市である日進市、東郷町、みよし市では、堅調な住宅需要を背景とした新市街地型の土地区画整理事業が施行されている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度の使用収益開始率は66.6% 同事業費進捗率は78.3%
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 平成35年度の完了に向け、着実に事業進捗を図る。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 予定どおり、平成33年度に換地処分手続きを行い、平成35年度に事業完了とする。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成33年度には、地区全域の使用収益開始を達成する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公園西駅周辺・区画整理整備事業（区画整理事業）									
番号	①	事務事業名	公園西駅周辺・区画整理整備事業	款	2	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成25年度		終了（予定）年度		平成35年度						

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> 公園西駅周辺地区を対象とする。 対象地区において、駅前広場を整備し、リノモ及びNバスとの交通結節点機能の充実を図りつつ、都市機能の充実と魅力ある拠点形成を図るため、市施行による土地区画整理事業により、公共施設整備と宅地整備を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	計画どおりの事業進捗が図れるよう、事務を展開する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		1,377,510	1,073,153	381,489	543,815
		決算		952,735	1,477,349	731,658	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 街区整備工事					333,685	千円	
② 供給処理施設負担金					136,712	千円	
③ 包括支援業務委託					104,760	千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
使用収益開始率	%	目標	-	-	-	-	80
		実績	0	2	61	66	
事業費進捗率	%	目標	-	-	-	-	90
		実績	17	37	59	78	

<備考：活動の概要（当該事業年度）>
 大型商業施設（4.8ha）の開店に伴う周辺の道路整備や、保留地分譲（第1期～3期）、ならびに事業全体（20.6ha）の施行監理を実施した。結果、平成29年度末時点で、使用収益開始率66%、事業進捗率78%となっている。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

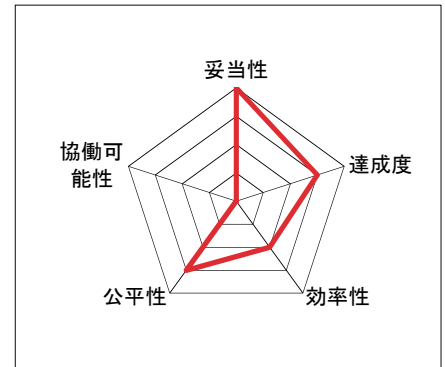
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
大型商業施設の開店により、店舗周辺への交通集中が発生し、地区周辺の交通混乱を招いたが、現時点では沈静化している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
※新規行政評価対象
(何をどのような状態に改善したのか)
-

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
なし。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
保留地分譲について、計画どおりの実施に至らなかったため、分譲にかかるPR方法について、検討が必要である。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に設計図変更、資金計画の見直しを反映した事業計画変更に取り組む。 駅前広場周辺を大街区化し、生活利便施設の立地促進を図るとともに、積極的な保留地分譲に取り組む。